

②② 第三者認証GAP取得促進事業

ふくしま。GAPチャレンジ

【目標】 第三者認証GAP等に取り組む経営体数 1,800経営体（令和12年度）

- 【現状】 ○GAP認証農産物に対する実需者のニーズに生産側が応えられず取引に至らない
【課題】 ○流通・小売業者、消費者の認知度が低く、認証取得の機運が停滞している
○経験の少ない指導員が増加し、現場における指導力の維持強化が必要

- 【対応】 ○法人及び団体への取得推進により、GAP認証農産物の生産拡大を図る
○GAP認証農産物の取引拡大に向けて、実需者等とのマッチングと消費者への情報発信を行う
○指導員資格の取得と指導力強化に向けた研修を実施する

法人・団体への認証取得を拡大し、
GAP日本一を目指す

事業全体

第三者認証GAP等導入支援事業 【91,000千円】

- 継続 第三者認証GAP（GLOBAL G.A.P./ASIA GAP/JGAP）及びふくしま県GAP（FGAP）の認証取得や維持・更新に係る経費の支援

産地のGAP指導体制の構築 【121,000千円】

- 継続 専任の推進員による認証取得支援
○継続 県、県域農業団体や市町村によるGAP導入拡大、PR等の取組経費の支援
○継続 FGAP現地審査事務の審査員の体制整備
○継続 指導員研修等の実施

GAPの見える化による消費者・実需者等の理解促進【25,000千円】

- 継続 県内外の消費者や流通事業者に対する認証取得農場の取組情報等の発信、取扱や販路拡大に向けた取組強化
○継続 GAP取得産地等と実需者とのマッチングモデルの創出